

2024年度PGリーグ大会要項

- 1.参加資格 2024年度稲城市サッカー連盟加盟の4種チーム（24年度3年生以下）
- 2.競技規則 以下に特に記載の無い場合は、日本サッカー協会『サッカー競技規則2023/24』にて行う。
退場および累積警告2枚の者は、次の試合1試合を出場停止とする。
これらは試合に出ている選手、控え選手、ベンチにいるスタッフ全てに適用し、本大会中は累積する。
全ての選手は登録制とする。追加は出場試合当日第1試合招集までに報告する。
選手の重複登録は不可。
- 3.会場 稲城市南多摩スポーツ広場多目的覆蓋グラウンド
- 4.試合時間 30分（15分－5分－15分） 前半終了から後半開始のホイッスルの間は5分間とする。
- 5.試合 Grpリーグを開催したのち、順位リーグ戦により優勝以下表彰チームを決定する。
①試合は6人制で行う。 試合開始時と試合中に最低4名が出場していること。
②試合開始時や試合中に3名以下となった場合、その試合は続行してもよいが、3名以下のチームは不戦敗とする。
③試合が不成立となったときはその試合を「3：0」とし、不戦敗チームの勝ち点は「マイナス1」とする。
④リーグ戦の順位については、以下にて決定する。
1,勝ち点（勝ち3,引分け1,負け0） 2,得失点差 3,直接対決の結果 4,総得点 5,本部によるコイントス
- 6.ピッチサイズ（縦：40m × 横：28m）を基本とする。
- 7.ボール ボールは4号検定球とし、「0.8気圧」に調整したものを当該チームが持ち寄って主審が決める。
- 8.会場設営 ①会場設営は第1試合キックオフ90分前から全チームのスタッフで行い、後片付けも全チームで行う。
②会場設営は審判資格者を中心に公式戦と同基準で作成する。前回のラインをなぞる行為だけで済ますのは不可。
③会場設営終了後、当日の帯同審判員は稲城市サッカー連盟審判部員と共にグラウンドチェックを行う。
④試合数が多い日は、前半のチームが設営、後半のチームが後片付けなどに振り分ける場合がある。
- 9.会場運営
(1) 会場運営は当番制とし、組み合わせ表に記載のチームで担当する。
(2) 運営当番チームの役割：下記に指定のない場合2チームで分担してもよい。
①A3の対戦表と全試合分の結果報告シート 及び全試合分の審判報告書を第1試合運営のチームが用意する。
②空気圧系と空気入れを持参し、用具チェックの際の審判の補助を行う。（全ての運営チーム）
③審判用飲料水（芝の上では【水】のみ）の手配。
④覆蓋Gでは各チームメジャーを2本持参（午前・午後と別れた場合は午前の2チームが2本用意する）
⑤当日の試合結果の確認（審判報告書と結果報告書の得点と同じか、得点者の合計得点が結果と一緒に等々）
⑥会場準備と後片付けの確認と、終了後の最終確認(結果報告・忘れ物・駐車場からの撤収・場合によっては施錠)
⑦最終試合の運営チームは当日全ての「報告シート」と「審判報告書」を事務局に提出(ML配信メールに添付でも可)する。
⑧最後の運営チームは空の石灰袋を持って帰り処分する（ごみは置いていかない）。

(3) 南多摩スポーツ広場(サッカー場、覆盖多目的グラウンド)においては以下を順守する。

- ①第1試合開始1時間半少し前に川崎街道入り口(ゲート)を開錠する(少年部)。早過ぎる来場は禁止。
 - ②各チーム車両(応援観戦者含む)は当日指定の台数を守り、指定の駐車証を車両前面に掲示する。
 - ③駐車場係りをチームに振分ける。来場者は『南多摩G案内』を必ず読んで注意事項を理解の上入場する。
 - ④基本はAゾーンに駐車、満車の場合E~Fゾーンへ。スロープ上や階段下など役割によって指定する。
 - ⑤スロープは車両のみで時間で一方通行とする。歩行者は階段を利用しスロープは侵入を禁止する。
 - ⑥石灰の空袋は最後の当番チームが持って帰り処分する。
 - ⑦石灰は南多摩グラウンドの倉庫から持ってくる。残数が3袋以下の場合は少年部長に連絡する。
- *芝の上ではヒールが細い靴、固い靴では入場禁止(革靴・ハイヒール等々) 車輪つきベビーカーやカートも不可。
*選手・コーチ・他観戦者が会場ルールを守らなかった場合、チームに対し罰則を与えることがあります。

10.出場選手 選手はベンチ入りした時点で、試合に出なくとも出場とみなす

- ①3年生以下で構成する。
- ②複数チーム出場する場合は、力が均等になることを推奨する。
- ③追加登録は認めるが一度出場した選手は他チームでは登録できない。
- ④選手は全て登録制とする。追加登録は認めるが出場当日第1試合招集時を期限とする。
- ⑤選手はフェアプレー精神を常に持つこと、クレーム行為をしない事をチームは指導しなければならない。

11.ベンチ入り

- ①試合の際のベンチ入り選手の人数制限は設けない。スタッフは2名以上5名以内とする。指導者資格は問わない。
- ②審判育成の大会でもあり、積極的に経験の少ない審判員を活用するので、試合中のベンチからのジャッジに対するクレームは認めない。ただし試合後に連盟審判部員への確認は認める。

12.交代 「自由な交代」とする。 当日の参加選手は、控え選手を含めて全員出場する事を原則とする。

13.審判 ***稲城市サッカー連盟審判部員が試合前の打ち合わせ、試合後のアドバイスなど行います。**

- ①1人審判制(主審・補助審)だが、多くの審判員に経験を積ませる為に、前後半で主審を交代しても良い。
- ②審判を割当てるが、連盟審判部員と相談のうえ審判を決めることを基本とする。当該チームの審判でも可。
- ③審判育成のための大会でもあるので、経験の少ない審判員が積極的に審判を受け持つことを優先とする。
- ④対戦表の審判割り当ては目安であり、連盟審判部員がその都度経験の少ない審判員を優先的に起用する。
- ⑤試合終了後審判は報告シートに結果を記載し署名する。その後審判報告書を記載する。
- ⑥審判報告書を書き終わったら、連盟審判部員より審判内容についてコメントを受ける。

14.ユニフォーム

- ①FP、GPともに、メインサブともに互いに容易に識別できる色であること。
- ②公式戦のユニフォーム規定が基準だが、チーム事情で対応が難しい場合は、大会役員や審判部員が確認する。
- ③「全員を試合に出す」目的を踏まえてユニフォーム規定は柔軟性を持たせるが最初から番号無しは不可。
- ④GPのショーツソックスがFPと同じでも可とする。アンダーシャツやショーツはチームで同じ色とする。

15.表彰

①チーム表彰

優勝、準優勝、第3位、敢闘賞と、最上位以外の各リーグ1位を表彰する。

②個人表彰

最優秀選手、得点王、ベストGPはそれぞれ全体から1名、チームMVPは各チームから1名を表彰する。

すべての個人賞は、試合ごとのポイントを合計から決定する。

チーム代表者は、得点者・出場GP・MVPと相手チームMVPを結果報告シートに記載し速やかに提出する。

最優秀選手のいるチームは、チーム内ポイント2位の選手をチームMVPとする。

《MVPポイント》

試合ごとに自チームと相手チームからそれぞれ1名選ぶ。相手チームのポイントは1.5倍する。

全試合終了時に個人賞ポイントが同点の場合は、チームMVPのポイント(自+相)を加算して1位を決める。

《ベストGP》

GP出場ポイントは、試合ごとにチームで1点とし、複数人が出場した場合は人数で割る。

1名ならば1点、2名なら0.5点ずつ、3名なら0.33点ずつとする。出場時間は問わない。

相手GP選手に秀逸なプレーが見られた場合には、追加ポイント1点を与えることができる。

16.参加費

1チームにつき 3,000円 徴収日は別途ご連絡いたします。

17.その他

①疑義が生じた場合は本部に提起し、大会役員と当該及び当日の出場チーム間で確認を行う。

②選手はもちろんのこと、審判、指導者それぞれがルールを理解するための大会とする。

③指導者はポジティブな指示を基本とし、加えて選手の判断力を高め自主性を重んじる大会とする。